

ACR療法（多血小板血漿（PRP）注入）施術説明同意書

皮膚老化の再生を図るために、自己多血小板血漿（PRP）の皮膚への注入を行うことを勧めます。PRPはご自身の血小板を濃縮した成分で、この中には皮膚の再生を促進する様々な成長因子が含まれています。これらは、清潔操作で行われ、かつ自己血液であるために、他人からの病気がうつる、あるいは感染症を起こす心配は基本的にありません。

説明

- 施術前に表面麻酔を行います。
- 静脈血採血による合併症は極めて稀ですが、失神・吐き気・静脈炎・内出血斑・神経損傷を起こす可能性があります。
- PRP注入液を作製するためには、通常10～20ccの静脈血を片側の肘の静脈から採血します。
- 血小板活性を保つためにアドレナリン含有リドカインを少量加える事もあります。
- PRP注入後、腫れや内出血が起こることがあります。
- 施術後にホットタオルで加温します。
- 他の治療法との比較：ヒアルロン酸注射や光線療法とは機序が異なり、類似する方法はありません。
- 治療費は顔面全体の治療で8万円（消費税別）、部分的治療で5万円（消費税別）です。
- PRPの保管及び移行は行いません。
- PRP作製にかかわる材料（血液）及び器材は医療廃棄物として処理します。
- 本治療は「自己多血小板血漿（PRP）を用いた老化した皮膚の治療」（計画番号：PC3170207）という名称で特定非営利活動法人日本アンチエイジング医療協会認定再生医療等委員会（認定番号NB3150019）における審査の後、厚生労働大臣に再生医療等提供計画を提出し、受理されています。また、定期報告義務を有します。
- 問合せ及び苦情は下記にて対応します。
クイーンズスクエア皮膚科・アレルギー科 受付窓口TEL：045-682-4112

PRPの治療効果

- PRP注入は、完全にシミ・シワ・タルミを改善するものではなく、個人の自然治癒力を利用しているため、徐々に改善するが、その治療効果に個人差があること及び治療効果を保証するものではありません。また、シミ・シワ・タルミの程度によっては複数回の治療が必要となることがあります。

前述の処置の本態と目的及びその実施に関わる危険性を十分説明しました。
私は全ての質問に私の能力最善を尽くして答えました。また、これからも答えるつもりで
す。

説明年月日： 年 月 日

説明医師氏名 (自筆署名)

管理者・実施責任者 尾見徳弥

連絡先：クイーンズスクエア皮膚科・アレルギー科 (045-682-4112)

同意

私は、この技術を使った治療に対する同意を施術前であればいつでも撤回することは自由
であることを知っています。

